

平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年8月7日

上場会社名 株式会社リンクバル 上場取引所 東  
 コード番号 6046 URL http://linkbal.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉弘 和正  
 (役職名)専務取締役 (氏名)大木 隆太郎 (TEL)03(6222)6827  
 問合せ先責任者 経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の業績（平成26年10月1日～平成27年6月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	1,255	—	227	—	221	—	124	—
26年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	40.75	—
26年9月期第3四半期	—	—

(注) 1. 平成26年9月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため記載しておりません。

2. 当社は、平成26年12月23日付で普通株式1株につき30,000株の株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	1,188	830	69.9
26年9月期	447	153	34.3

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 830百万円 26年9月期 153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,681	43.1	302	76.8	280	63.7	159	38.3	51.26

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成27年9月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、公募株式数(250,000株)を含めた期中平均発行株式数により、算出しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
     ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
     ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
     ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
     ④ 修正再表示 : 無  
 (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年9月期3Q	3,250,000株	26年9月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	—株	26年9月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年9月期3Q	3,059,524株	26年9月期3Q	—株

平成26年12月23日付で普通株式1株につき30,000株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、円安基調の継続、原油安の影響等もあり、国内景気は緩やかな回復基調にて推移しました。個人消費についても、株式市場の堅調な推移や雇用情勢の改善等を背景として、緩やかな改善基調の動きが見られました。しかしながら、欧州金融不安や中国経済の減速感等、海外経済要因への警戒感等から先行きは楽観視できない状況にて推移しました。

このような状況の下、当社は、第2四半期累計期間に引き続き、当社及び当社サービスの認知度を高めるために、積極的なWEB広告による販売促進、車両広告等のプロモーションを継続いたしました。また、ゴールデンウィーク期間のイベント開催の増加に伴い、「街コンジャパン」サイトへのイベント掲載数が増加いたしました。各イベントも参加条件を特定の年齢層のみに限定したもの、同じ趣味嗜好に限定したもの等、最近のユーザーニーズにあう内容のイベントが多数開催された結果、参加申込数は順調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高は1,255,154千円となりました。損益面では、業容の拡大に伴う人件費の増加、本社移転に伴う消耗品等の増加等により、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,027,985千円となり、営業利益は227,169千円となりました。また、株式上場に伴う株式交付費7,947千円を計上したことにより、経常利益は221,479千円、四半期純利益は124,689千円となりました。

なお、当社はインターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。サービスごとの取組みは以下のとおりであります。

#### (イベントECサイト運営サービス)

平成27年4月から6月までの「街コンジャパン」サイトへの訪問者数は順調に推移いたしました。

当社が主催するイベントにおいては、第2四半期に引き続き同じ趣味を持つ人たちのイベントとして好評であるアニメをテーマにした街コンイベントを東京、名古屋、大阪、福岡の各地で開催いたしました。また、Jリーグのサッカーチームと共同開催した街コンイベントや、伊豆大島を舞台にした街コンイベント、自動車でのドライブ好きに提供したドライブコン等、ユーザーの趣味や嗜好にあわせた街コンイベントを開催いたしました。

当社以外の主催者が開催するイベントは、ゴールデンウィーク期間を中心にアウトドアをテーマにした街コンイベントが好評でありました。屋外でのバーベキューコン、ビアガーデンを会場とした街コンイベント、船上を会場とした街コンイベント等がユーザーの人気を獲得し、イベント掲載数は堅調に推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間におけるイベントECサイト運営サービスの売上高は1,239,984千円となりました。なお、売上の内訳は、当社が主催する街コンイベントによる売上高が789,123千円、他社が主催する街コンイベントによる売上高が416,777千円、当社が主催する街コンイベントによる売上高が32,869千円、他社が主催する街コンイベントによる売上高が1,214千円となりました。

#### (WEBサイト運営サービス)

「恋学」サイトでは、継続的なSEO対策及び契約ライターの拡充によるコンテンツ数が増加いたしました。また、新たなニュースサイトとの記事提携や広告枠の増加に伴い広告販売の促進に繋がりました。「婚活ジャパン」の資料請求数につきましては、平成27年1月から3月までの累計と比較して、ほぼ同水準で推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間におけるWEBサイト運営サービスの売上高は15,170千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は1,188,353千円となり、前事業年度末に比べ740,966千円増加いたしました。これは主に、新規上場に伴う公募増資の実施等による現金及び預金の増加が579,969千円、本社移転に伴う有形固定資産の取得による増加が71,981千円、敷金支払い等による投資その他の資産の増加が67,836千円あったことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債は358,084千円となり、前事業年度末に比べ64,276千円増加いたしました。これは主に、未払金の減少が5,281千円、預り金の減少が7,961千円、未払消費税の減少が12,171千円あったものの、前受金の増加が12,500千円、未払法人税等の増加が14,736千円、賞与引当金の増加が13,041千円、資産除去債務の増加が22,148千円あったことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は830,269千円となり、前事業年度末に比べ676,689千円増加いたしました。これは、新規上場に伴う公募増資の実施による資本金の増加が276,000千円、資本剰余金の増加が276,000千円、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加が124,689千円あったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の業績予想につきましては、平成27年4月28日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました当期の業績予想から変更ありません。各公表値は、売上高1,681百万円、営業利益302百万円、経常利益280百万円、当期純利益159百万円を見込んでおります。

なお、平成27年9月期の業績予想の前提条件は以下のとおりです。

## ① 売上高

イベントECサイト運営サービスの売上高は、街コンイベントの開催数、1開催当たりの参加者数及びその参加料に応じて変動いたします。

当社が主催する街コンイベントについては、過去実績を基に、イベントプランナーの一人当たりの開催数、イベント1開催当たりの参加者数を算出し、直近の動向を織り込んで、それらに乗じることにより、イベント参加者数の予想値を見積っております。また、イベント1開催当たりの参加料については、過去実績を基に、直近の動向を織り込むことにより、参加料を見積っております。平成27年9月期のイベント参加者数は、イベントプランナーの拡充、イベント開催エリア拡大等によるイベント開催数の増加を見込んでおり、前年比59.3%増の予想値を算出しております。また、売上高については、イベント1開催当たりの参加料は固定としておりますが、イベント参加者数の増加を見込んでいることから、前年比46.9%増の1,092百万円の予想値を算出しております。

当社以外が主催する街コンイベントについては、各イベント主催者の過去実績及び各イベント主催者へのヒアリングによるイベント開催希望数を勘案のうえ、各イベント主催者から受領する集客手数料等を積み上げることにより、売上高の予想値を算出しております。平成27年9月期の売上高については、各イベント主催者からのヒアリングによるイベント開催数の増加を見込んでいることから、前年比36.1%増の577百万円の予想値を算出しております。

WEBサイト運営サービスの売上高については、主要取引先の過去実績を基に、直近の動向を織り込んで、売上高の予想値を算出しております。

以上により、平成27年9月期の売上高は、前年比43.1%増の1,681百万円を見込んでおります。

## ② 営業利益及び経常利益

売上原価及び販売費及び一般管理費については、個別に発生する費用を積み上げるとともに、イベントプランナー及び内部管理体制の強化による人員増加の人件費、当社の認知度の向上及び新規顧客の獲得のための広告宣伝費、その他株式交付費等を見積ることにより予想値を算出しており、その結果、平成27年9月期の営業利益は、前年比76.8%増の302百万円、経常利益は前年比63.7%増の280百万円を見込んでおります。

## ③ 当期純利益

課税所得の増加に伴う税金費用の増加、当社の業容拡大に向けた増床及び業務効率の向上を目的とした本社移転に伴う特別損失の計上を見込んでおり、その結果、平成27年9月期の当期純利益は、前年比38.3%増の159百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

上場に行われた公募増資の結果、当事業年度において資本金が増加したことに伴い、外形標準課税が適用されることになりました。

また、平成27年3月31日に「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が公布され、平成27年4月1日以降開始する事業年度より法人税率が変更されることとなりました。

これらに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率は、前事業年度の37.1%から、平成27年10月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については33.1%に、平成28年10月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については32.3%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	259,487	839,457
売掛金	2,898	7,303
未収入金	113,022	112,985
その他	16,010	29,813
貸倒引当金	△1,159	△1,202
流動資産合計	390,259	988,357
固定資産		
有形固定資産	3,081	75,063
無形固定資産	15,502	18,552
投資その他の資産	38,543	106,380
固定資産合計	57,127	199,996
資産合計	447,387	1,188,353
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,060	7,512
未払金	107,321	102,040
未払法人税等	55,040	69,777
未払消費税等	35,803	23,632
前受金	14,020	26,520
預り金	53,032	45,070
賞与引当金	6,234	19,275
その他	17,293	35,426
流動負債合計	293,807	329,254
固定負債		
資産除去債務	—	22,148
その他	—	6,680
固定負債合計	—	28,829
負債合計	293,807	358,084
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	281,000
資本剰余金	—	276,000
利益剰余金	148,580	273,269
株主資本合計	153,580	830,269
純資産合計	153,580	830,269
負債純資産合計	447,387	1,188,353



## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,255,154
売上原価	352,563
売上総利益	902,591
販売費及び一般管理費	675,422
営業利益	227,169
営業外収益	
受取利息	67
保険解約返戻金	2,190
営業外収益合計	2,257
営業外費用	
株式交付費	7,947
営業外費用合計	7,947
経常利益	221,479
税引前四半期純利益	221,479
法人税、住民税及び事業税	94,332
法人税等調整額	2,457
法人税等合計	96,790
四半期純利益	124,689

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年4月28日に株式会社東京証券取引所マザーズに上場し、平成27年4月27日を払込期日として、一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式250,000株の発行を行いました。

その結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ276,000千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が281,000千円、資本剰余金が276,000千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。